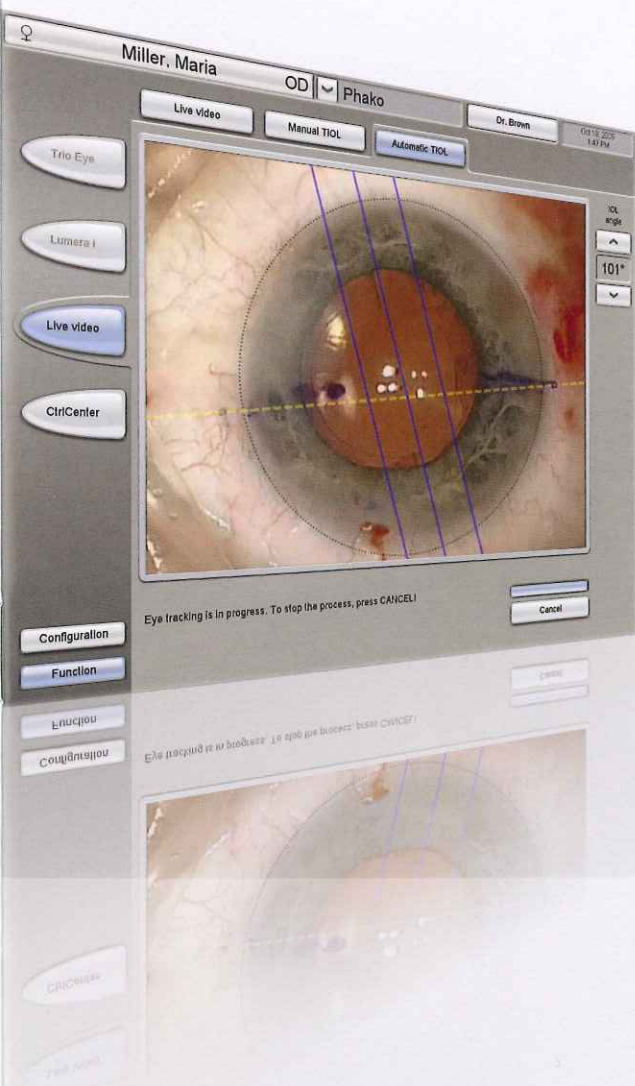


手術顯微鏡 OPMI Lumera 700





OPMI Lumera 700はあらゆる眼科手術において、プレミアムパフォーマンスを提供する唯一の次世代手術顕微鏡です。

You perform. Does your equipment?

新SCI照明

Lumeraシリーズで確固たる地位を築いたSCI照明が電動制御となりステレオコアキシャル照明とフィールドイルミネーションの調整がさらに容易になりました。

システムインテグレーション

電動InverterやResightさらにHDカメラを内蔵させることにより、器械の操作性が大きく向上し、さらに内蔵スリットや内蔵ケラトスコープ、アシスタントのズームリンク機能によりアプリケーションの幅が大きく広がりました。

拡張性

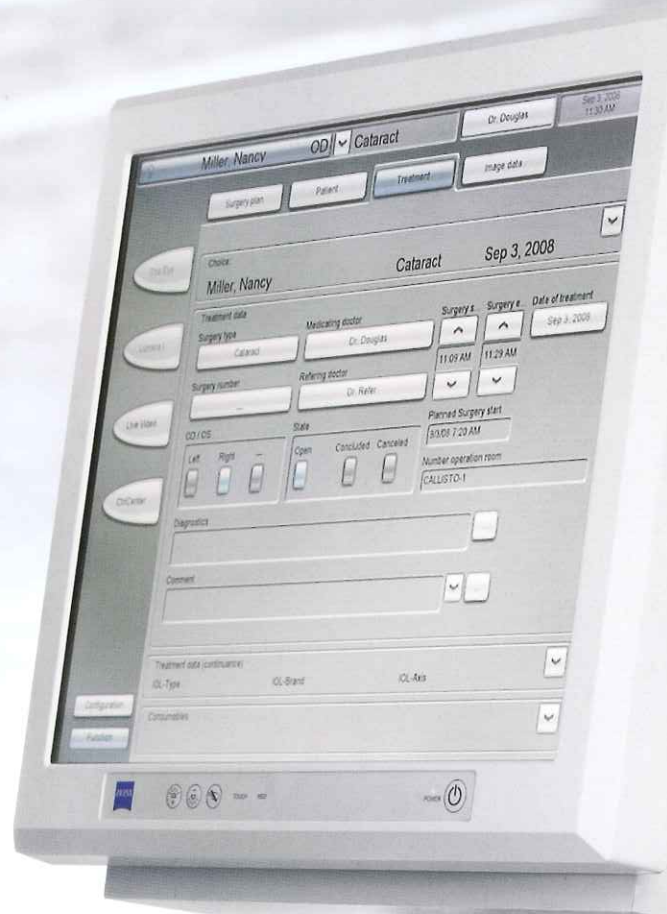
眼科統合ソリューションに対応しており、CALLISTO eye®を介してさまざまな術前検査の値を閲覧することが可能で、さらに顕微鏡自体のリモート操作も行うことができ今後の拡張性にも十分配慮された設計となっています。

効率化

ケーブルレスデザインと機能内蔵の処理によりシステムの効率化、作業の効率化に大きく寄与した全く新しいデザインを採用しています。ワイヤレスフットスイッチはその代表と言えるでしょう。

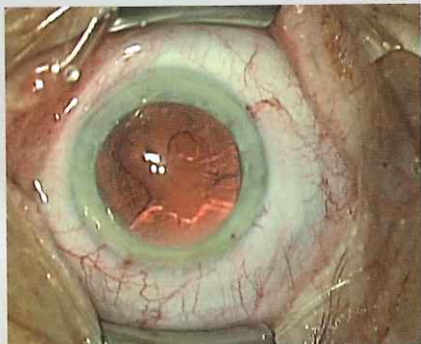
Eye.Zプラットフォーム

Zeiss社が考える新しいEye.Zプラットフォームの中核を担うのが新世代手術顕微鏡OPMI Lumera 700です。新しいVALUEを是非体感してください。





前眼部手術アプリケーション



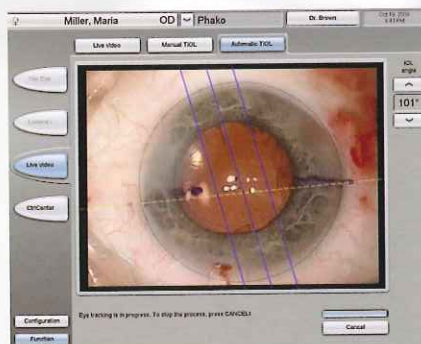
SCIイルミネーション

OPMI Lumeraシリーズとともに登場したSCIイルミネーションがさらに進化しました。術者の手元ハンドグリップやフットスイッチでSCI照明が制御可能となりステレオコアキシャル照明とフィードバックイルミネーションの配分調整がさらに容易になりました。操作はいたって簡単、調整ツマミに触れるだけで電動でその配分を細かく調整できます。



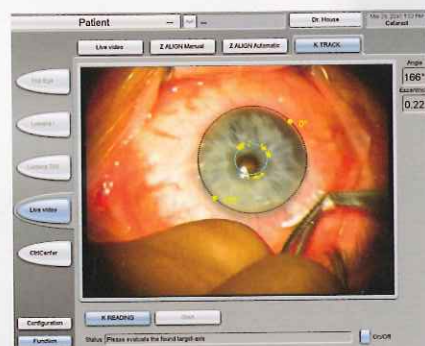
内蔵型ケラトスコープ (オプション)

対物レンズ外周に取り付けられたLED照明より角膜上に複数のリング照明を投影、IOL挿入後の術後乱視の出方を即座に確認できます。照明の投影ON/OFFは術者手元のハンドグリップまたはフットスイッチにより容易にコントロール可能です。



Zアライメント (オプションのCALLISTO eye®との接続が必要です)

トーリックIOLの挿入にはいままでも多くの困難がともなっていました。それはレンズのZ軸の位置出しの難しさであり、これを簡便化したのが本機能です。術者はCALLISTO eye®上の座標軸を見ながらレンズに記された指標に合わせてレンズを移動させるだけで的確な位置決めが可能となります。これはLumera 700の特筆すべき機能です。



Kトラック (オプションのCALLISTO eye®との接続が必要です)

これも内蔵ケラトスコープと同様角膜の形状を術中術後に正確に確認する機能です。Lumera 700より投影される青色のリングによって術中の角膜の変化がリアルタイムで把握可能です。Zアライメントと共に、より精度を求める白内障手術には必須の機能となるでしょう。



VISULUX サージカルスリット (オプション)

DSAEKやフェイクIOLの手術では、術中に光学的な断面情報を得られることは何よりの援護射撃となります。特にDSAEK手術では、あの水抜きが手に取るように確認できます。



後眼部手術アプリケーション



内蔵型スリットイルミネーション

硝子体手術におけるスリット照明の応用は日本では広く利用されているアプリケーションです。主にスリット照明は周辺部硝子体の切除や黄斑手術時におけるバイマニュアルテクニックに応用されますが、外付けのスリットを取り付けることなく簡便的にその照明を利用することが可能になりました。これによりワイドアングルシステムとの併用が初めて可能となり術式の多様性も広がります。スリット幅は0.2、2、3、4mmから選択可能で手元のハンドグリップやフットスイッチから制御可能です。



眼底観察システム Resight

接眼レンズからフロントレンズの最後の1枚まで一社の光学設計でできないかという要望に答えて開発されたのが眼底観察システム Resightです。ワイド端はオラセラータまで歪みのない光学設計を、マキュラレンズはその中心解像力をとことん追求して設計しました。システムの統合という発想とともに従来の手術顕微鏡の操作の一部としてオペレーションできるのもこの機能の大きな特徴です。次世代硝子体観察のスタンダードはこの機能以外考えられません。



電動 InvertertubeE

眼底観察システム Resightと連動し、さらに電動で制御可能なのが電動 InvertertubeEです。余分なプリズムブロックを使用せず、プリズムを回転するだけで正像倒像を切り替える機能はそのままに電動化を図ったのが本機能です。エクストラなInverterを追加した顕微鏡像と比較してみるのとはとても面白い経験になるかもしれません。



VISULUX サージカルスリット (オプション)

内蔵スリット機能では物足りない方はこちらです。スリット照射角を自在に変えられ、その高コントラストな像は比較の対象がありません。硝子体カッターを保持したサイドからスリット照明を投影し、反対方向から軽く内陥するのが使用上のコツです。また照明野が狭いので顕微鏡倍率を高めて使用するのも重要なポイントとなります。



Plug&Play

眼底観察システム Resightや電動 InvertertubeEの接続は顕微鏡鏡基に備わったプラグにプラグインするだけ。従来機種のようにわずらわしい配線は必要としません。



共通アプリケーション



新型XYカップリング

新型XYカップリングはその稼動範囲を大きく広げ、61mm×61mmとしました。これにより一般的に考える眼科手術において、対象から観察野が外れてしまうことは殆どなくなりました。



ZOOMLINK 機能

術中、特に大学などの教育機関では手術手技の教育というのは大きな意味を持ってきます。しかしながら時として主術者と助手が異なる倍率での観察を望まれることや、またその反対に同条件での観察を求めるケースを我々は多く経験してきました。このZOOMLINK 機能ならばその双方の要望に答えてくれます。



内蔵HD (ハイディフィニション) カメラ (オプション)

SDからHDへ時代の流れは大きく変化しています。Zeiss社内蔵HDカメラは最新のHD技術をふんだんに盛り込んだ3CCDを採用し、眼科手術の精細な描写を可能としました。外部アウトプットはSD信号も備えていますので、記録は従来の周辺機器でということも可能です。またResightと連動して反転する機能も有しています。



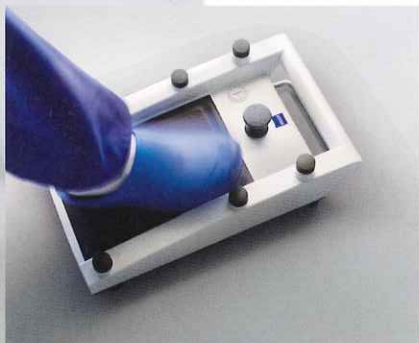
内蔵17インチモニター (オプション)

外部トローリーへの接続やその設置場所に苦慮した経験はありませんか？内蔵モニターはそんな要望に応えてくれます。正しい位置決めさえできれば顕微鏡にモニターが搭載されているほど便利なことはありません。1289×1024の解像度を有しています。



ハロゲン/キセノン光源装置 (選択)

顕微鏡光源はハロゲンとキセノンから選択可能。硝子体手術時に使用する眼内照明と色温度を合わせてキセノンを選択するというのも1つの方法です。両方同時使用のCombi照明も選べます。



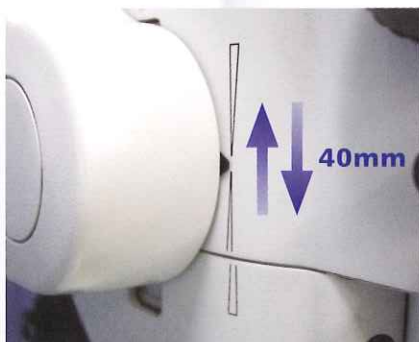
ワイヤレスタイプフットスイッチ

手術台下の絡み合ったケーブル類とそのメンテナンス。術前術後の手術室ワークフローのなかで最も煩雑さを極めるところです。業界初となるワイヤレスフットスイッチ、一度試用されることをお勧めします。緩やかに傾斜したデザインと踏み込んだ際の感触、開発者の熱意が伝わる逸品です。



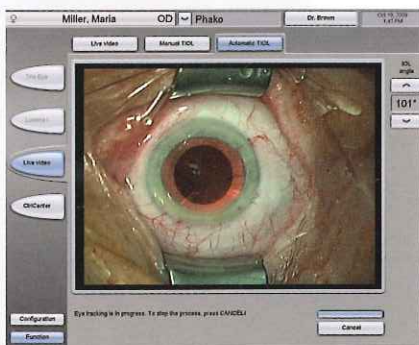
マルチプログラム GUI

この顕微鏡の多機能ファンクションを一括して操作管理するのが新設計マルチプログラム GUIです。各種機能の細かい設定、ハンドグリップやフットスイッチへの機能割り当てを行います。特に従来機種では制限のあったフットスイッチの任意設定が、マルチプログラミングにより可能となり、20人分の術者ごとの任意設定がメモリー可能となりました。



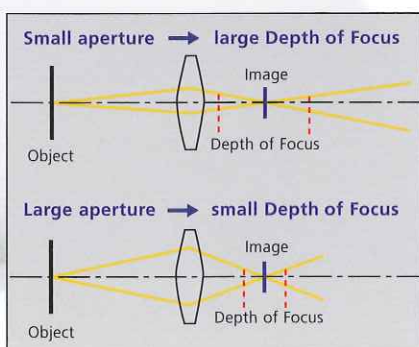
ファストフォーカス

ワンブッシュで40mmのフォーカスが瞬時に移動可能。IOLの折りたたみや眼底観察システム Resight 利用時に大変重宝します。旧式の上下動式顕微鏡を愛用されていた術者にも朗報です。Lumera 700からの新機能です。



電動網膜保護フィルター

術中に術者の手元でスイングイン&アウトが電動で可能な網膜保護フィルター。IOL挿入後の患者眼網膜保護に役立ちます。手術が長時間に渡る場合などにGG475(黄色)フィルターと合わせて使用することをおすすめいたします。



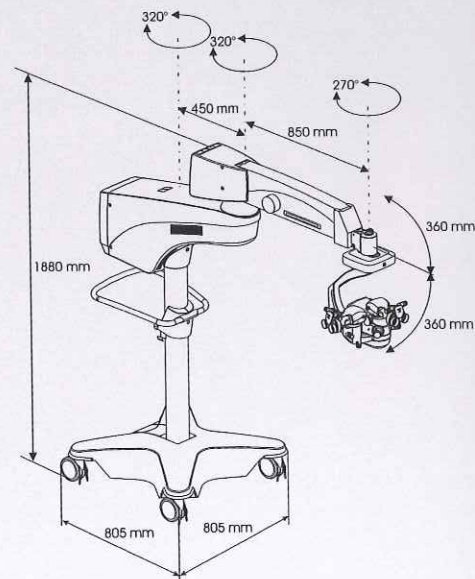
Dof(Deep View System)

観察深度を自在にマネージメントできるのもZeiss社の本機能のみです。アクティブポジションで顕微鏡の倍率変化と連動し、特に高倍域での深度補正に役立ちます。

手術顕微鏡 OPMI Lumera 700

テクニカルデータ

光学系	T* マルチコートアポクロマートレンズ
主顕微鏡	
変倍機構	電動式ズームシステム/ 連続変倍比 1:6 / ズームスピードの調整可
フォーカス機構	駆動範囲 70mm / フォーカススピードの調整可
観察鏡筒 (オプション選択可)	電動インバーター鏡筒、 手動インバーター鏡筒又は双眼 180° 可変鏡筒
接眼レンズ	広視野接眼レンズ 10x (標準) オプションでは 12.5x
対物レンズ	f=200mm (標準)
総合倍率	3.5x ~ 21.0 (標準構成時)
視野径	10.3mm ~ 61.8mm (標準構成時)
観察深度調整装置	Deep View System (Dof)
アシスタント顕微鏡	一体型同軸立体視アシスタントスコープ (選択) 術者と完全同軸立体観察可能/ ズームリンク機能または独立手動ズーム機能/ 独立手動フォーカス機能/ 術者に対して左右 90° 側方ヘローテーション可
観察鏡筒 (オプション選択可)	双眼斜鏡筒又は電動インバーター鏡筒
XY カップリング	XY カップリングとフォーカスの原点位置復帰用ボタン/ 駆動範囲: 61 x 61mm
照明機構	
フィルタ	内蔵型 408nm UV カットフィルタ / 挿入型網膜保護フィルタ (GG475) 挿入型色温度変換フィルタ (KK40) (ハロゲン光源のみ) 挿入型 HaMode フィルタ (キセノン光源のみ)
光源装置	
ハロゲン照明	自動電球交換機能
Superlux™Eye	キセノン照明 クイックランプチェンジャー機能
Combi 照明	ハロゲン照明と Superlux™Eye キセノン照明のコンビネーション
フットスイッチ	ワイヤレス・ワイヤードフットスイッチ (ズーム/フォーカス/調光 etc.)
電气的安全規格	EN60601-1 第3版
電撃に対する保護の形式及び程度 (共通)	クラス I 機器, B 形装着部
重 量	約 235kg (アクセサリ含まず)
定格電圧	100V AC, 50/60Hz
最大消費電力	1,000VA
製造販売届出番号	手術顕微鏡 OPMI Lumera 700 13B1X00119003340 眼底観察システム Resight 13B1X00119004060 ワイヤレス・ワイヤードフットスイッチ 13B1X00119004050



手術顕微鏡 OPMI Lumera 700

詳しくは、下記のカルルツァイスメディテック (株) 各営業所へ お電話もしくはウェブサイトへ、または弊社器械製品取扱店へお問い合わせください。

カルルツァイスメディテック株式会社

〒160-0003 東京都新宿区本塩町 22 番地
Tel 03-3355-0331
Fax 03-3358-7413

大阪営業所 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-35-22
Tel 06-6337-5464 Fax 06-6337-5477

名古屋営業所 〒465-0043 名古屋市名東区宝が丘 25
Tel 052-777-1411 Fax 052-777-1417

福岡営業所 〒810-0062 福岡市中央区荒戸 2-1-5
Tel 092-713-7821 Fax 092-711-0776

仙台営業所 〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-12-7
Tel 022-224-5621 Fax 022-224-5626

URL <http://www.meditec.zeiss.co.jp>

●本製品の仕様はお断りなしに変更させていただくことがあります。
●本カタログ中の製品の色彩は印刷のため実物とは多少異なることがあります。